

専門分野

（理学療法）

I 基礎理学療法学

大項目	中項目	小項目
1 理学療法の概要	A 歴史	a 日本・世界の理学療法
	B 倫理	a 専門職の使命
		b ノーマライゼーション
		c インフォームドコンセント
		d 個人情報保護
	C 法規・関連制度	a 理学療法士及び作業療法士法
		b 医療保険制度
		c 介護保険制度
	D 基調	a 国際分類(疾病、障害、生活機能)
		b 臨床疫学
		c 予後・帰結予測
		d エビデンスに基づく理学療法
		e 診療ガイドライン
		f クリニカルパス
	E 領域	a 保健・医療・福祉
		b 急性期・回復期・維持期・終末期
		c 健康増進・障害予防
	F 過程	a 評価
		b 治療計画
		c 実施
		d 効果判定
		e 記録・報告
	G 治療・介入技術	a 運動療法
		b 物理療法
		c 補装具療法
		d 対人関係技術
		e 環境整備(住宅改修、福祉用具等を含む)
f 生活指導		
H 管理・運営	a 理学療法部門の管理運営	
	b 安全管理(インシデント・感染症対策等)	
	c 情報管理(カルテ管理・個人情報保護等)	
I 研究・教育		
2 理学療法の基礎	A 運動発現	a 運動の発現機構
		b 関節構造、関節可動域
		c 筋収縮、筋機能
	B 運動制御	a 運動の制御機構

大項目	中項目	小項目
		b 随意運動のメカニズム
		c 中枢神経系
		d 末梢神経系
	C 持久性	a 運動の維持機構
		b 呼吸循環
		c 代謝
		d 疲労
		e 消化・吸収
	D 認知	a 感覚・知覚
		b 認知
	E 情緒・心理	a 意欲
		b ライフサイクル
		c 障害受容
	F 運動学	a 動作の構造
		b 基本動作
		c 歩行
		d バイオメカニクス
	G 病態運動学	a 疾患と障害
		b 動作障害
	H 運動学習	a システム論
		b 条件付け・フィードバック
		c 可塑性、再組織化
	I 痛み	a 分類
		b メカニズム
		c 制御機構
	J 発達・加齢	a 正常発達
		b 心身機能の変化
	K 活動・参加	a ADL(Activities of Daily Living)
		b IADL(Instrumental Activities of Daily Living)
		c QOL(Quality of Life)
	L 環境調整	a 環境の構造
		b 環境と個体

II 理学療法評価学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 目的と領域	a 目的
		b 信頼性と妥当性
		c 急性期・回復期・維持期・終末期
	B 時期と手順	a 初期・中間・最終
		b 立案と説明
		c 面接
		d 情報収集(検査・画像所見等を含む)
		e 実施(観察、検査・測定、動作分析)
f 統合と解釈		
2 基本評価	A 全身状態・局所所見	a 意識
		b バイタルサイン
		c 栄養状態
		d 皮膚(褥瘡を含む)
		e 排尿・排便
		f 摂食・嚥下
	B 運動系	a 四肢長・周径
		b 関節可動域
		c 筋力
		d 筋持久力
		e 筋緊張
		f 反射
		g 協調機能
		h 平衡機能
		i 脳神経(運動系)
	C 感覚系	a 体性感覚(皮膚感覚、深部感覚)
		b 特殊感覚
		c 痛み
		d 内臓感覚
	D 認知・高次脳機能	a 知的機能
		b 注意
		c 失語・失行・失認
		d 記憶、遂行機能
	E 呼吸・循環	a 運動負荷試験
		b 呼吸機能
		c 循環機能
		d 全身持久力

専門分野 (理学療法) II 理学療法評価学

大項目	中項目	小項目
	F 動作	a 基本動作分析
		b 歩行分析
	G 発達	a 姿勢反射
		b 発達検査（DDST:Denver Developmental Screening Test 日本版、遠城寺式等）
	H 臨床評価指標	a 各疾患の評価指標
		b 各障害の評価指標
	I 活動	a ADL（Barthel Index、Functional Independence Measure を含む）
		b IADL（Instrumental Activities of Daily Living）
	J 参加	a 参加
		b QOL（Quality of Life）
	K 背景因子（個人因子）	
	L 背景因子（環境因子）	a 住環境調査（家屋調査等）
		b 家族関係
c 家庭環境		
3 各領域の評価	A 骨関節障害	a 変形性関節症
		b 骨折
		c 関節リウマチとその近縁疾患
		d スポーツ外傷・障害
		e 脊椎疾患
		f 腰痛症
		g 切断（小児の先天性奇形を含む）
		h 靭帯損傷
		i 肩関節周囲炎・腱板損傷
		j 胸郭出口症候群
		k 慢性疼痛疾患
	l 骨壊死性疾患（大腿骨頭壊死を含む）	
	B 中枢神経障害	a 脳血管障害
b Parkinson 病、Parkinson 症候群		
c 外傷性脳損傷		
d 脳腫瘍		
e 脊髄小脳変性症		
f 脊髄損傷（頸髄損傷を含む）		
C 神経筋障害	a 筋ジストロフィー	

大項目	中項目	小項目
		b 筋萎縮性側索硬化症
		c 多発性筋炎・皮膚筋炎
		d 重症筋無力症
		e 多発性硬化症
		f ニューロパチー (Guillain-Barré症候群を含む)
		g 末梢神経損傷 (腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む)
		D 運動発達障害
		b 二分脊椎
		c 運動発達遅滞
		d Down 症候群
		e 骨系統疾患
	E 呼吸器障害	a 急性呼吸不全
		b 慢性閉塞性肺疾患
	F 循環器障害	a 虚血性心疾患 (心筋梗塞、狭心症)
		b 閉塞性動脈硬化症
		c Raynaud 症候群
	G 感覚器障害	a 眼科疾患
		b 耳鼻咽喉科疾患 (聴覚、前庭障害)
	H 代謝障害	a 糖尿病
		b 肥満
		c 慢性腎臓病
	I その他の疾患・障害	a 摂食・嚥下障害
		b 排尿障害
		c 褥瘡
		d 熱傷
		e 精神科疾患
		f 産科・婦人科領域
	J 廃用症候群	
	K 保健・福祉領域	a 予防保健医学
		b 産業理学療法

Ⅲ 理学療法治療学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 目的と領域	a 目的
		b 領域・病期
	B 組み立てと手順	a 目標設定
		b 介入戦略
		c リスク管理
d プログラム		
2 基本介入手段	A 運動療法	a 全身調整運動
		b 関節可動域運動
		c 筋力増強運動
		d ストレッチング
		e 筋再教育
		f 筋持久力
		g 全身持久力
		h 感覚・知覚再教育
		i 協調運動
		j バランス練習
		k 基本動作練習
		l 歩行練習
		m 痛みに対する運動療法
		n 運動学習
	o 発達障害に対する運動療法	
	p 各種の治療手技	
	B 物理療法	a 温熱・寒冷療法
		b 電気刺激療法
		c 電磁波療法
		d 光線療法
		e 超音波療法
		f 水治療法
		g 牽引療法
		h マッサージ
	C 補装具療法	a 義肢(義手・義足)
		b 装具(上肢・下肢・体幹)
		c 車椅子、座位保持装置
		d 移乗機器
		e 歩行補助具
		f 適合技術

大項目	中項目	小項目
	D ADLとQOL(Quality of Life)	
	E リスク管理	a 疾患別
		b 病期別
		c 高齢者
		d 転倒予防
		e 褥瘡の予防と治療
	F 個人因子	
	G 環境因子	a 住環境調査(家屋調査等)
		b 家族関係
		c 家庭環境
3 各領域の治療	A 骨関節障害	a 変形性関節症
		b 骨折
		c 関節リウマチとその近縁疾患
		d スポーツ外傷・障害
		e 脊椎疾患
		f 腰痛症
		g 切断(小児の先天性奇形を含む)
		h 靭帯損傷
		i 肩関節周囲炎・腱板損傷
		j 胸郭出口症候群
		k 慢性疼痛疾患
		l 骨壊死性疾患(大腿骨頭壊死を含む)
		B 中枢神経障害
	b Parkinson 病、Parkinson 症候群	
	c 頭外傷	
	d 脳腫瘍	
	e 脊髄小脳変性症	
	f 脊髄損傷(頸髄損傷を含む)	
	C 神経筋障害	a 筋ジストロフィー
		b 筋萎縮性側索硬化症
		c 多発性筋炎・重症筋無力症
		d 多発性硬化症
		e 多発神経炎
		f ニューロパチー(Guillain-Barré症候群を含む)
		g 末梢神経損傷(腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経

大項目	中項目	小項目
		損傷を含む)
	D 運動発達障害	a 脳性麻痺 b 二分脊椎 c 運動発達遅滞 d Down 症候群 e 骨系統疾患
	E 呼吸器障害	a 急性呼吸不全 b 慢性閉塞性肺疾患
	F 循環器障害	a 虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症) b 閉塞性動脈硬化症 c Raynaud 症候群
	G 感覚器障害	a 視覚障害を合併する歩行・生活指導 b 前庭性めまいに対する運動療法
	H 代謝障害	a 糖尿病 b 肥満 c 慢性腎臓病
	I その他の疾患・障害	a 摂食・嚥下障害(口腔ケアを含む) b 排尿障害(失禁予防運動、骨盤底筋群への対応) c 褥瘡 d 熱傷 e 悪性腫瘍 f 浮腫 g 精神科領域 h 産科領域
	J 廃用症候群	
	K 保健・福祉領域	a 健康増進 b 産業理学療法

IV 地域理学療法学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 基礎概念	a 地域とは
		b 地域における障害者(児)・高齢者
	B 制度	a 制度と関連法規
		b 社会資源
	C 地域理学療法	a 理念と目的
		b 他職種との協働
		c 地域との連携
		d 訪問理学療法
		e 通所理学療法
		f 施設における理学療法
		g 障害予防
		h 健康増進
		i 特定疾患の評価と治療
	D バリアフリーとユニバーサルデザイン	a 住環境整備
		b 家屋改造
	E 福祉用具	a 福祉用具導入の考え方
		b 代表的な福祉用具
		c 自立生活支援機器(環境制御装置等を含む)
		d スポーツ・レクリエーション用具
F 家族への指導	a 介助方法	
2 評価と支援	A 施設入所者	A a 廃用症候群
	B 在宅(訪問・通所)	か b 脳血管障害
	C 終末期	ら c 骨関節障害
		C d 神経障害
		に e 悪性腫瘍
		共 f 住環境
		通 g 生活状況

専門分野 (理学療法)
IV 地域理学療法学

V 臨床実習

大項目	中項目	小項目
1 概要	A 安全管理(インシデント・感染症対策等)	
	B 事故・過誤	
	C 感染症対策	
	D インフォームドコンセント	
	E 守秘義務	
2 実施	A 情報管理(カルテ管理・個人情報保護等)	
	B 個人情報保護	
	C 記録・報告	
	D 対人関係技術	
	E 画像等の医学情報の理解	